

「ハマル、ハチノヘ」観光振興プラン「アクションプラン」

1. アクションプラン策定目的

本市では「ハマル、ハチノヘ。」観光振興プラン 2025～2029 において、観光需要拡大に向けた基本方針と数値目標を示しています。

アクションプランは、これらの基本方針と目標を達成するために実施すべき具体的な事業を明示したものであり、取組状況を定期的に点検・評価し、成果や課題を可視化することで、柔軟な見直しを可能とし、観光施策の持続的な発展につなげることを目的に策定するものです。

2. 計画期間

計画期間は「ハマル、ハチノヘ。」観光振興プランと同様とし、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間

3. 進捗管理

- ・アクションプランは、観光を取り巻く環境変化や地域ニーズを的確に反映し、実効性の高い取り組みを進めるため、毎年度の進捗状況や効果検証等を踏まえて見直しを行っていくものとします。
- ・毎年度、八戸市観光振興審議会を開催し、アクションプランの進捗管理を行います。
- ・進捗管理の結果は、次年度のアクションプランの見直し、予算要求にも反映します。

アクションプラン事業一覧

黄色は新規事業

★は新規事業の中で優先的に取り組む事業

基本方針1：地域の事業者稼ぐ観光を目指し、観光消費額を拡大する

(1) 食のまち・八戸の推進

施策	アクション1：食べ歩きできるコンテンツ開発				
目的	「食」をフックとした誘客の促進				
事業概要	地元食材や伝統料理などを整理して紹介することで、複数店舗を巡ってもらえるような導線を設計し、回遊性の向上を図る				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	域内・近隣住民、首都圏等からの観光客、インバウンド				
想定する取組	★①ワールドシーフード・ウォーク（仮称）の実施【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	検討会議の開催	イベント実施に向けた調整	食べ歩きイベントの実施	⇒	⇒

施策	アクション2：当市の水産・畜産等と観光を融合させた新たな観光の創造ハマル、食のまち・はちのへ検討会				
目的	「食」をフックとした誘客の促進				
事業概要	八戸の食の強みを整理し、食文化・食材の深掘りと情報発信の仕組みを構築する				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ー				
想定する取組	★②はちのへ食文化会議（仮称）の開催【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	検討会議の開催	食文化会議開催	コンテンツ実施に向けた調整	事業実施	⇒

施策	アクション3：食べに行きたくなるまちの仕掛け				
目的	地域の食資源を活用し「わざわざ食べに行きたくなる」魅力的なまちを創出することで、観光誘客の促進を図る。				
事業概要	地元民がおすすめするガイドブックの製作				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ビジネス客				
想定する取組	③食のガイドブック製作【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	検討会議の開催	ガイドブック製作	⇒	⇒	⇒

施策	アクション4：地元特産品の販売促進				
目的	地域資源を活用した特産品の販路拡大および認知度向上を図ることで、地元産品のブランド力強化を目指す。				
事業概要	8baseを活用した地場産品のPR事業				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	首都圏、インバウンド				
想定する 取組	・8baseを活用した地場産品のPR事業の強化				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒

（2）国立公園種差海岸の魅力向上

施策	アクション5：「種差海岸」の豊かな自然の活用と守るべき価値の保存				
目的	種差海岸の魅力を官民で維持・拡大する				
事業概要	観光客が種差海岸を楽しく観光できるプログラムを実施するとともに、この観光プロセスにサステナブルツーリズムの要素を入れ、自然の価値を再発見する。				
実施主体	八戸市（観光課）・VISITはちのへ				
ターゲット	高付加価値層、インバウンド				
想定する 取組	④八戸流サステナブルツーリズムの実施【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	内容検討	事業実施	分析・見直し	⇒

施策	アクション6：民間投資を呼びこむエリアの設定				
目的	種差地区にホテルや飲食店などの民間投資を呼び込む				
事業概要	「種差」地区計画を策定し、土地利用のルールやまちの整備方針を明確にし、計画的な開発が可能にすることで、民間事業者による投資を呼び込む。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ー				
想定する 取組	★⑤「種差」地区計画策定事業【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	市場調査	意見交換 素案作成	意見交換 素案作成	意見交換 素案作成

施策	アクション7：文人墨客に愛された独自の魅力や歴史を活かしたブランディング				
目的	地域にゆかりのある文人墨客を活用し、地域の独自性・精神性・文化的深みを内外に発信することで、観光誘客や地域ブランドの向上、住民の郷土愛醸成を図る。				
事業概要	メタ観光による地域の観光資源の価値を文化的・歴史的意義だけでなく、様々な角度で捉え、オンライン上のメタ観光マップに落とし込み可視化する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	知的好奇心の強い層、若者層				
想定する取組	⑥メタ観光を活用した地域観光価値の再構築推進事業【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	内容検討	事業実施	分析・見直し	⇒

施策	アクション8：みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させたPRとトレイルのスタート地点としてのブランド価値の向上				
目的	八戸市を「みちのく潮風トレイル」および「八戸十和田トレイル」の起点・交流地点として位置づけ、自然・文化・ストーリーの発信を強化することで、トレイルを核とした地域ブランディングと観光誘客を図る。				
事業概要	情報発信・PRの強化や関係自治体・機関との連携体制構築				
実施主体	八戸市（観光課）・VISITはちのへ				
ターゲット	域内・近隣住民、首都圏等からのトレイル観光客、インバウンド				
想定する取組	★⑦みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させたPR事業・イベントの実施【新規】 ・外国人向け受入環境整備事業 ・利用実態の分析事業【拡充】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	事業実施 利用実態分析	事業実施 受入環境整備	⇒	⇒

（3）インバウンド対応の充実

施策	アクション9：ターゲット、情報発信方法の精査				
目的	観光客のニーズに対応し、効果的なプロモーションを実施するため				
事業概要	誘客や地域消費につなげるために、アンケート等によりターゲット層と情報発信手段を分析し、効果的かつ持続的な情報発信体制を構築する				
実施主体	VISITはちのへ				
ターゲット	ー				
想定する取組	・HP、SNS、メディアを活用した戦力的なプロモーション				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	情報発信実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 10：広域連携によるプロモーション強化				
目的	広域エリア全体の認知度向上と観光誘客の促進を図り、来訪者の滞在時間・消費額の増加につなげる。				
事業概要	地域横断的な魅力を一体的に発信				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・連携中枢都市圏広域観光事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 11：受入環境の整備				
目的	訪日外国人旅行者が安心・快適に地域を訪れ、滞在・観光できるよう、言語対応、交通手段、情報発信、等の受入環境を総合的に整備する。				
事業概要	グーグルマップ対応の充実、多言語対応の強化、キャッシュレス決済の普及、交通利便性の向上のための事業を実施する。				
実施主体	八戸市（観光課）・VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	★⑧グーグルマップ対応の充実【新規】 ・多言語対応の強化 ・キャッシュレス決済の普及 ・交通利便性の向上				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	セミナー開催	受入環境整備	⇒	⇒

施策	アクション 12：訪日客の現状やニーズを詳細に把握する（アンケートの強化等）				
目的	訪日外国人観光客の受入体制を強化するにあたり、現地での滞在実態・満足度・課題・ニーズ等を把握し、今後の観光施策の立案・改善に活かすため、アンケートやヒアリング等の調査体制を強化する。				
事業概要	人流データ、アンケート、口コミなどを活用した実態調査				
実施主体	八戸市（観光課）、VISIT はちのへ				
ターゲット	インバウンド				
想定する 取組	・市内観光施設等を活用したアンケートの強化、人流データを活用した調査、口コミの調査等【拡充】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	実態調査	⇒	⇒	⇒

(4) 高付加価値の創出

施策	アクション 13：観光コンテンツを活用した宿泊観光の促進				
目的	地域の自然・文化・食・歴史などの観光コンテンツを活用し、滞在型観光を促進することで、観光消費額の拡大・観光客の満足度向上を図る。				
事業概要	通年観光によるコンテンツ開発				
実施主体	八戸市（観光課）・VISIT はちのへ				
ターゲット	首都圏等からの観光客、インバウンド				
想定する 取組	・地域の自然・文化・食・歴史などの観光コンテンツを活用した通年観光につながる取り組み				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	⇒	事業実施	分析・見直し	⇒

施策	アクション 14：アウトドアスポーツツーリズム・サステナブルツーリズム・アドベンチャーツーリズムの推進				
目的	種差海岸等を活用したアウトドアツーリズムなどの実施による高付加価値化				
事業概要	種差海岸の豊かな自然景観や文化資源を活用したアウトドアアクティビティや体験型観光を展開し、滞在型・消費型観光への転換を図り、観光の高付加価値化と地域経済の活性化を目指す。				
実施主体	八戸市（観光課）・VISIT はちのへ				
ターゲット	域内・近隣住民、首都圏等からのトレイル観光客、インバウンド				
想定する 取組	④八戸流サステナブルツーリズムの実施【再掲・新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	内容検討	事業実施	分析・見直し	⇒

施策	アクション 15：地元ならではの体験プログラムの開発				
目的	観光消費の拡大とともに、住民の誇りや地域とのつながりの再発見にもつなげることを目的とする。				
事業概要	地域に根ざした歴史・文化・自然・食などの資源を活かし、「ここでしかできない」体験を通して地域の魅力を深く感じることができるプログラムを開発する。				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	—				
想定する 取組	・首都圏等の旅行エージェントを招請、事業者と連携した観光コンテンツ造成				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 16：広域連携				
目的	広域的な観光ルートの構築と情報発信の一体化				
事業概要	隣接自治体や広域観光圏との連携を強化することで、域内滞在時間の延伸や観光消費額の向上を目指す				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・連携中枢都市圏広域観光事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

(5) 文化観光・スポーツツーリズムの推進

施策	アクション 17：中心市街地の公共施設等を活用したまち歩き				
目的	中心市街地の街歩き回遊性向上及び賑わいの創出				
事業概要	中心街に設定した散策ルートマップ上で、各チェックポイントを巡りながら、デジタルスタンプを収集して歩く。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	域内・近隣住民、ファミリー層				
想定する 取組	⑨ハチノヘウォークブル事業【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施	分析・見直し	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 18：スポーツ大会・合宿等の誘致				
目的	長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)等の地域のスポーツ施設を活かし、スポーツ大会や合宿を誘致することで、滞在型交流人口の拡大、観光消費の拡大を図る。				
事業概要	スポーツ大会・合宿等の誘致活動				
実施主体	八戸市（観光課・スポーツ振興課・長根屋内スケート場）				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・スケート大会やスポーツ合宿の誘致				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	誘致推進	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 19：地域の文化や伝統の保存と活用、歴史的資源を活用した観光の推進				
目的	歴史的資源を観光資源として活用し、地域の魅力発信と観光客の回遊性向上を図る。				
事業概要	八戸三社大祭の振興と伝承のために山車を制作することができる場の整備及び、縄文時代など歴史的テーマで、オンライン上のメタ観光マップに落とし込み可視化する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	知的好奇心の強い層、若者層、域内・近隣住民				
想定する 取組	⑥メタ観光を活用した地域観光価値の再構築推進事業【再掲・新規】 ・旧柏崎小学校跡地広場整備事業 ・文化観光の推進事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	旧柏崎小学校跡地広場整備	旧柏崎小学校跡地広場整備	旧柏崎小学校跡地広場整備	事業実施	分析・見直し

（6）観光インフラ整備

施策	アクション 20：目的地となるような宿泊施設の誘致や大規模なスポーツ大会に対応するための宿泊施設への支援				
目的	選手等が安心して滞在できる受入環境を構築し、スケートの国際大会の誘致を積極的に進める。				
事業概要	観光庁等の補助事業活用のためのホテル改修に対するヒアリング・改修計画策定等の支援				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ー				
想定する 取組	⑩宿泊施設等の改修・整備計画策定支援【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	内容検討	内容検討	事業実施	分析・見直し

施策	アクション 21：交通アクセスの向上・八戸駅のゲートウェイ化の促進				
目的	交通結節点としての機能強化				
事業概要	観光・地域情報の発信機能の強化や交通接続性・利便性の向上を目指す				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	域内・近隣住民、観光客				
想定する 取組	・JR 八戸線の延伸 ・電車・バスなどの交通アクセスの向上 ・八戸駅の情報・案内機能の充実及び交通結節点としての機能強化				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	内容検討	事業実施	⇒	⇒

(7) 地域全体での連携強化

施策	アクション 22：地元観光事業者等と連携した取組				
目的	観光を取り巻く最新動向や地域施策について、地元の観光事業者・関係団体と情報を共有することで、相互理解と連携を深め、地域全体での観光振興を推進する。				
事業概要	地元観光事業者等との情報共有会を定期的に行う				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	—				
想定する取組	・ 地元観光事業者等との情報共有会の開催				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	事業実施	⇒	⇒	⇒

(8) 国内外からの誘客の促進

施策	アクション 23：観光情報サイト、SNS、イベント、商談会、メディアなどを活用				
目的	地域の観光資源の効果的な情報発信による認知度向上				
事業概要	観光情報サイトや SNS、イベント、観光商談会、各種メディア等を戦略的に活用し、地域の魅力を効果的に発信することで、観光地への認知度向上と誘客の促進を図る				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	—				
想定する取組	・ SNS・HP 関連事業 ・ パンフレット等作成事業 ・ 観光資源撮影事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 24：旅行会社・交通事業者（鉄道、航空、高速道路、バス、タクシー等）と連携した取組				
目的	旅行会社・交通事業者との連携による新規需要の創出				
事業概要	旅行会社および交通事業者と連携し、プロモーションを展開することで、誘客の促進と観光消費の拡大を図る。				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	—				
想定する取組	・ 首都圏等の旅行エージェントを招請、事業者と連携した観光コンテンツ造成				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 25：データ基盤の整備と活用の強化				
目的	データに基づく戦略的な観光振興の推進				
事業概要	観光に関する多様なデータを収集・分析し、観光施策のマーケティング等の最適化を図る				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・統計調査事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 26：MICE の誘致促進				
目的	MICE を誘致することで通年型・平日型の観光需要の創出や地域経済の波及効果の拡大を図る				
事業概要	MICE の積極的な誘致により、地域への高付加価値な来訪を創出し、経済波及効果や地域ブランド力の向上を図る				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・MICE 事業（開催補助金の交付）				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 27：大型客船の誘致				
目的	海外・国内の大型クルーズ客船の寄港回数増加				
事業概要	大型クルーズ客船の寄港誘致を推進し、国内外からの観光客を受け入れることで、地域経済の活性化および認知度向上を図る				
実施主体	八戸市（観光課）・VISIT はちのへ				
ターゲット	ー				
想定する 取組	・観光誘客連携事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

基本方針2:持続可能な観光を確立し、地域経済の発展、環境保護、地域文化の保全と継承を進める

施策	アクション 28：持続可能な観光の確立				
目的	持続可能な観光を確立し、経済の発展、環境保護、地域文化の保全と継承を進める。				
事業概要	持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用しながら、効果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組を進める				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ー				
想定する取組	★⑪ガイドラインに沿った取組の推進（ガイドラインに沿ったプロフィールの作成、指標評価ワーキンググループ設立等）【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	研修等の実施	ガイドライン取組の実施	⇒	⇒	⇒

基本方針3：観光振興による市民の幸福度の向上

(1) 観光人材の育成

施策	アクション 29：観光の目指す姿や観光による地域づくりを理解してもらうための観光振興プラン概要版の作成				
目的	市民や市内観光事業者等に観光の目指す姿や観光による地域づくりを理解してもらう				
事業概要	観光振興プラン概要版を作成し、市民や観光事業者等に配布する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	ー				
想定する取組	⑫観光振興プラン概要版の作成と配布【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	概要版の作成	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 30：市民が観光地を案内できるようにするための八戸観光ガイドブックの作成				
目的	市民が地域の観光資源を理解・誇りを持ち、観光客や知人を案内できるようになる。				
事業概要	観光ガイドブック（パンフレット）の作成				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	域内・近隣住民				
想定する取組	③食のガイドブック製作【新規・再掲】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	検討会議の開催	イベント実施に向けた調整	食べ歩きイベントの実施	⇒	⇒

施策	アクション 31：観光資源を活用して子どもたちが地域を学び、誇りを持てるような教育プログラムの実施				
目的	観光資源を学びの素材として活用し、子どもたちが地域の魅力を知り、誇りと愛着を育む				
事業概要	観光資源を活用して子どもたちが地域を学び、誇りを持てるような教育プログラムを実施する				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	市内小中学生				
想定する取組	⑬小学生向け観光副読本の作成【新規】 ⑭市内小中学校へのガイド派遣補助制度【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	ガイド派遣補助実施	副読本作成 ガイド派遣補助	⇒	⇒

施策	アクション 32：大学など教育機関との連携強化				
目的	地域の観光に関する課題について、大学等との共同研究や教育連携を通じて、地域の課題解決と価値創出を図るとともに、次世代を担う人材の育成を促進する。				
事業概要	大学等と連携して、地域観光資源の磨き上げ、観光動態分析、環境保全、地域フィールドを活用した実地学習などを実施する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	市内学生				
想定する取組	⑮大学等との共同研究・教育連携事業【新規】 ★⑯観光人材育成プロジェクト【新規】 ⑰食育プロジェクト（食のまちはちのへと連動）【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	大学等と事業検討	事業実施	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 33：旅行に来てもらうだけでなく、市民が旅したくなる取組の実施				
目的	子どもたちの多様な学習スタイルの実現、心身の健やかな成長、そして家族とのふれあいや地域とのつながりを深めることを目指す。				
事業概要	児童生徒が学校外での学びや体験を通じて主体的に学ぶ機会を創出する「ラーケーション（Learning + Vacation）」を導入することで、子どもたちの多様な学習スタイルの実現、家族とのふれあいを深めることを目指す。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	市内小中学生				
想定する取組	⑱市内小中学校でのラーケーションの導入【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	市内小中学校での導入	⇒	⇒	⇒

（２）観光による経済活性化

施策	アクション 34：域内調達率の向上				
目的	地域内の企業・事業者による製品・サービスの利用を促進し、域内経済の循環を強化することで、持続可能な地域経済の構築を目指す。				
事業概要	実態把握・課題分析など域内調達率の向上に向けた事業を実施する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	—				
想定する取組	⑲地産地消推進事業【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	⇒	事業実施	⇒	⇒

施策	アクション 35：観光客受入環境の整備促進、観光資源の魅了向上、観光教育のための財源の確保に向けて宿泊税の導入を検討				
目的	観光振興を持続的に推進するための財源確保手段として、宿泊税導入の可否について多角的な観点から検討を行う。				
事業概要	宿泊税の導入可否の検討				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	－				
想定する取組	★②⑩宿泊税検討会の実施【新規】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	検討会の開催	⇒	⇒	⇒	⇒

（３）出会いと交流（関係人口の拡大）

施策	アクション 36：住んでよし、訪れてよしのおもてなし向上				
目的	地域に暮らす市民と訪れる観光客の双方が快適に過ごせる環境を整備し、誰もが「また来たい」「住み続けたい」と感じるまちを実現することを目指す。				
事業概要	観光客に対する接遇力の強化や、地域に暮らす人々の快適性や満足度の向上にもつながる環境整備や意識醸成を図る。				
実施主体	VISIT はちのへ				
ターゲット	－				
想定する取組	・観光ガイド育成事業 ・観光ガイドブック（パンフレット）の作成【再掲】				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	事業実施 分析・見直し	⇒	⇒	⇒	⇒

施策	アクション 37：観光客が祭りや郷土芸能等の体験・交流により地域と結びつく取組の実施				
目的	地域文化への理解と共感を通じた観光客とのつながりの創出				
事業概要	観光客が地域の文化や人々と直接ふれあい、体験・交流できる機会を創出する。				
実施主体	八戸市（観光課）				
ターゲット	－				
想定する取組	・旧柏崎小学校跡地広場を活用した交流事業				
実施計画	【1年目】 令和7年度	【2年目】 令和8年度	【3年目】 令和9年度	【4年目】 令和10年度	【5年目】 令和11年度
	内容検討	⇒	⇒	事業実施	⇒